

## 今12月期予想は「保守的」

### 高利益率案件が拡大

ノムラシシステムコーポレーション(3940・JQ)は3月1日付で東証2部へ市場変更する。

26日の前12月期決算説明会で野村芳光社長は、「収益拡大のリリースである人材の獲得、また時価総額200億円(現在は約70億円)到達のためのステップアップとして市場変更した。次のステップとして東証1部へ昇格も早期に実現したい」と意気込みを語った。

同社は独SAP社のERP(統合基幹業務システム)の導入コンサルティングから保守・運用までを提供。前期は収益性の高いプライム(直ユーザ)案件への移行が進み、営業利益4億700万円(前の期比30%増)と大幅増益を達成。売上高に占めるプライム比率は前の期の19%から29%へと高まった。

今期の営業利益は4億1800万円(前期比3%増)を計画。野村社長は例年通りの「保守的な

見通し」とした上で、「プライム案件の拡大のため、コンサルタントのさらなるスキルアップに取り組む。中期の目標であるプライム比率34%以上には常に挑戦する」と語った。

同社の収益拡大の期待材料でもある次世代ERP「S/4HANA」の国内市場は96%が未開拓という状況。しかし、世界的に2025年にはS/4HANAへの切り替えが完了する見通しとされている。導入需要の取り込みに向け、M&A(企業合併・買収)も含めた外部からの人材獲得の可能性についても示唆した。